

# バージョンアップガイド (Ver.20→Ver.20.1)

EX-TREND 武蔵 Ver.20 から Ver.20.1 への  
バージョンアップ内容をご紹介します。



※解説内容がオプションプログラムの説明である  
場合があります。ご了承ください。  
※解説内容が入力専用では操作できない場合が  
あります。ご了承ください。

# 目次

# バージョンアップガイド EX-TREND 武蔵 (Ver.20→20.1)

## 1 インデックス P.1

- 1- 1 工事一覧に「工事番号:工事内容」を表示 \_\_\_\_\_ 1
- 1- 2 データ一覧に「作成日時」を表示 \_\_\_\_\_ 1
- 1- 3 「ATLUS REAL EVO」からの積算データ取り込みに対応 \_\_\_\_\_ 2

## 2 工程管理 P.3

- 2- 1 出来形オブジェクトの出力の改善 \_\_\_\_\_ 3

## 3 建設 CAD P.4

- 3- 1 文字のカウントアップのパターンを追加 \_\_\_\_\_ 4
- 3- 2 線入力時に入力値のロックを可能 \_\_\_\_\_ 4
- 3- 3 ワールドファイルに対応 \_\_\_\_\_ 4
- 3- 4 [現在のレイヤに配置]する設定を追加 \_\_\_\_\_ 5
- 3- 5 2点間の計測時に水平垂直距離を表示 \_\_\_\_\_ 5
- 3- 6 3Dで面の外周線を表示 \_\_\_\_\_ 5
- 3- 7 3Dで面の外周線の色を設定 \_\_\_\_\_ 6
- 3- 8 3Dに[編集[頂点整合]]を追加 \_\_\_\_\_ 6
- 3- 9 3Dに[編集[隙間埋め]]を追加 \_\_\_\_\_ 6
- 3-10 測量計算データ選択ダイアログに[複写]を追加 \_\_\_\_\_ 7
- 3-11 3次元設計データ作成の[縦断]の[計画]に[単距離]セルを追加 \_\_\_\_\_ 7
- 3-12 3次元設計データ作成の[横断]の[計画]の  
[モード]セルに[CLからの離れ+標高]を追加 \_\_\_\_\_ 8
- 3-13 3次元設計データ作成の[横断]の[断面設定]の  
[取り込み]の[CAD数値化]にセンター離れの入力を追加 \_\_\_\_\_ 8
- 3-14 3次元設計データの作成で構築形状の平場をスライド複写 \_\_\_\_\_ 9
- 3-15 3次元設計データのLandXML書き込みの  
[横断のみを参照]を[断面を補間する]に変更 \_\_\_\_\_ 9
- 3-16 3次元設計データのTIN出力時に端部の延長を可能 \_\_\_\_\_ 10
- 3-17 3Dモニタの[表示]の改良 \_\_\_\_\_ 11
- 3-18 切削オーバーレイでTREND-POINTとの連携強化 \_\_\_\_\_ 11

## 4 出来形管理 P.12

- 4- 1 未入力値に「-」を出力 \_\_\_\_\_ 12
- 4- 2 日付形式を「工事情報」「測定項目」「測点情報」ごとに設定 \_\_\_\_\_ 13
- 4- 3 [フォームごとに印刷]を追加 \_\_\_\_\_ 14
- 4- 4 [ばらつき管理ラベルの表示順]の変更を可能 \_\_\_\_\_ 15

## 5 写真管理 P.16

- 5- 1 デジタル写真管理情報基準 R2.3に対応 \_\_\_\_\_ 16
- 5- 2 写真の信憑性チェック出力時に総括表形式で結果を表示 \_\_\_\_\_ 16
- 5- 3 写真取り込みの自動振り分けの改良 \_\_\_\_\_ 17

## 6 アスファルト温度管理 P.18

- 6- 1 日付形式を「工事情報」「測点データ」ごとに設定 \_\_\_\_\_ 18
- 6- 2 [フォームごとに印刷]を追加 \_\_\_\_\_ 19

## 7 コンクリート品質管理 P.20

- 7- 1 日付形式を「工事情報」「測点データ」ごとに設定 \_\_\_\_\_ 20
- 7- 2 [フォームごとに印刷]を追加 \_\_\_\_\_ 21
- 7- 3 [ばらつき管理ラベルの表示順]の変更を可能 \_\_\_\_\_ 22
- 7- 4 コンクリート品質管理帳票の追加 \_\_\_\_\_ 23

## 8 電子納品ツール P.24

- 8- 1 要領・基準案対応 \_\_\_\_\_ 24
- 8- 2 テクリス読み込み時に取り込み対象を指定 \_\_\_\_\_ 24
- 8- 3 地図情報表示の強化 \_\_\_\_\_ 25
- 8- 4 納品チェック結果からファイルを開く \_\_\_\_\_ 26
- 8- 5 写真の信憑性チェック出力時に総括表形式で結果を表示 \_\_\_\_\_ 26
- 8- 6 電子納品出力でサイズによる分割なしの出力を可能 \_\_\_\_\_ 27

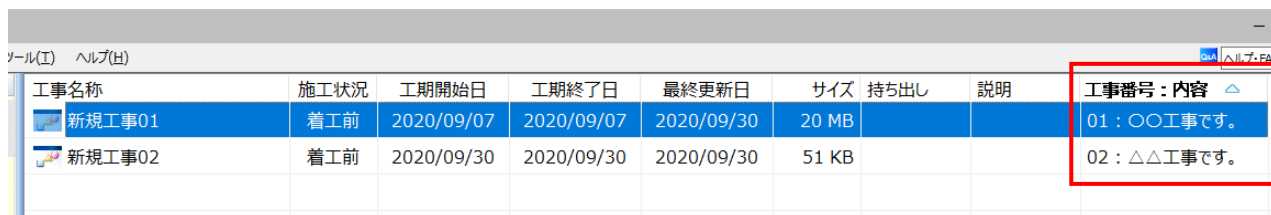
## 9 原価工程管理 P.28

- 9- 1 出来形オブジェクトの出力の改善 \_\_\_\_\_ 28

# 1 インデックス

## 1-1 工事一覧に「工事番号：工事内容」を表示

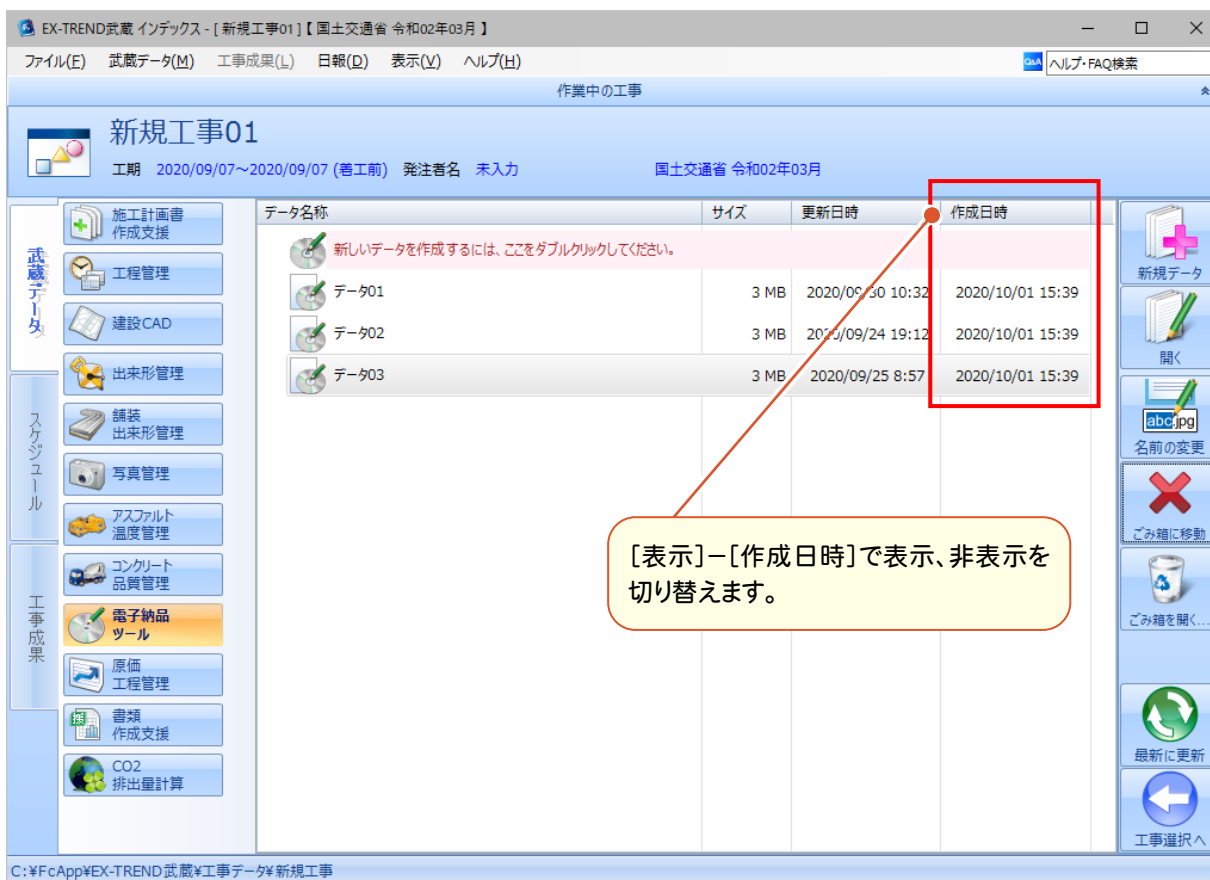
[表示] - [工事の表示方法] - [一覧] の選択時の工事一覧に「工事番号：工事内容」を表示するようにしました。並べ替えの対象とします。



工事名称	施工状況	工期開始日	工期終了日	最終更新日	サイズ	持ち出し	説明	工事番号：内容
新規工事01	着工前	2020/09/07	2020/09/07	2020/09/30	20 MB			01：〇〇工事です。
新規工事02	着工前	2020/09/30	2020/09/30	2020/09/30	51 KB			02：△△工事です。

## 1-2 データ一覧に「作成日時」を表示

[表示] - [作成日時] を追加して、データ一覧に作成日時を表示できるようにしました。



EX-TREND武蔵 インデックス - [新規工事01] 【国土交通省 令和02年03月】

ファイル(E) 武蔵データ(M) 工事成果(L) 日報(D) 表示(V) ヘルプ(H) ヘルプ・FAQ検索

作業中の工事

### 新規工事01

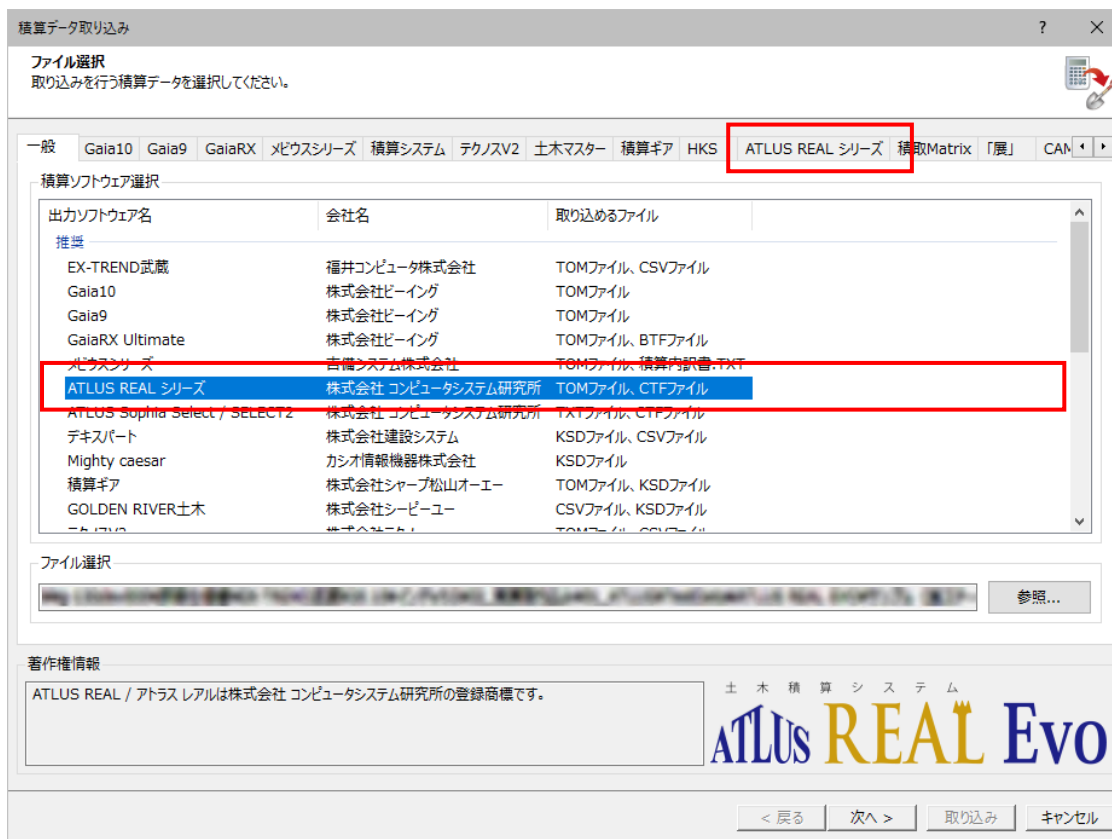
工期 2020/09/07~2020/09/07 (着工前) 発注者名 未入力 国土交通省 令和02年03月

データ名称	サイズ	更新日時	作成日時
新しいデータを作成するには、ここをダブルクリックしてください。			
データ01	3 MB	2020/09/30 10:32	2020/10/01 15:39
データ02	3 MB	2020/09/24 19:12	2020/10/01 15:39
データ03	3 MB	2020/09/25 8:57	2020/10/01 15:39

表示 - 作成日時で表示、非表示を切り替えます。

## 1-3 「ATLUS REAL EVO」からの積算データ取り込みに対応

【積算データ取り込み】の「ATLUS REAL」を「ATLUS REAL」シリーズに変更して、「ATLUS REAL EVO」から出力された積算データを取り込めるようにしました。

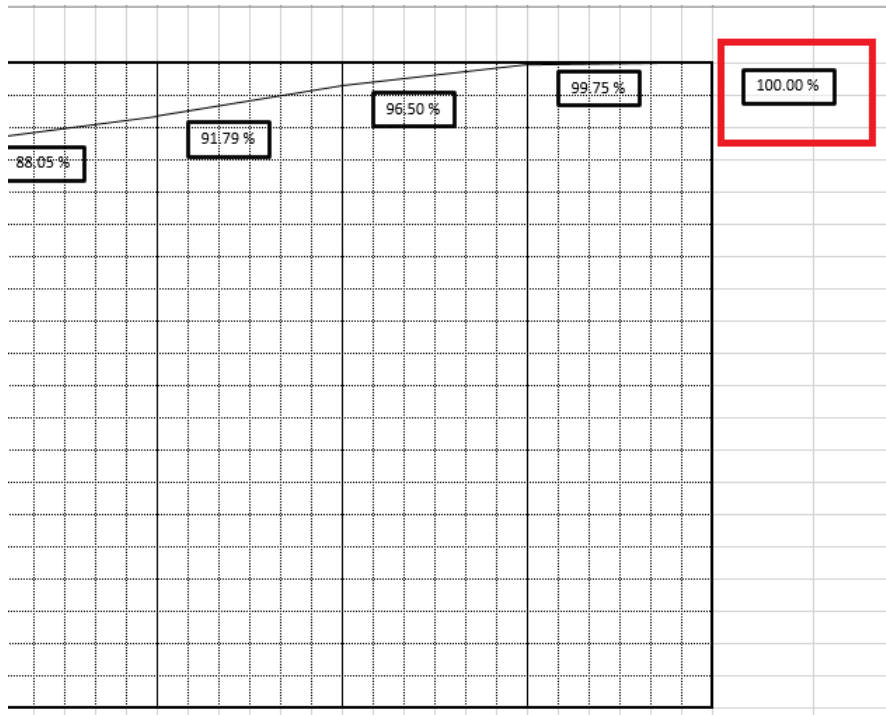


積算連携ツールの「ATLUS REAL」も「ATLUS REAL」シリーズに変更しました。

# 2 工程管理

## 2-1 出来形オブジェクトの出力の改善

バーチャート図、アロー図、ネットワーク図にて、出来高曲線を出力する帳票で出来高オブジェクトを出力する場合、「100%」の時もオブジェクトを出力するようにしました。

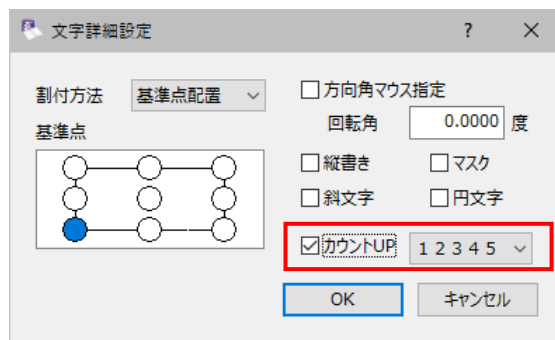


# 3 建設 CAD

建設CADの新機能をご紹介します。



## 3-1 文字のカウンタップのパターンを追加

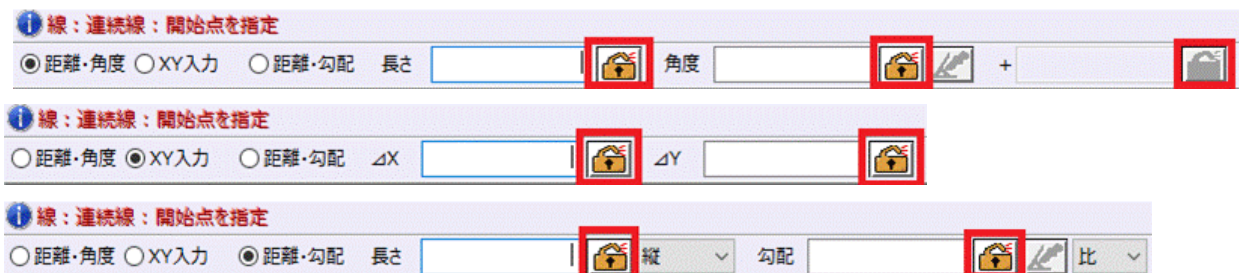
文字入力時の「文字詳細設定」で文字のカウンタップのパターンを選択できるようにしました。



## 3-2 線入力時に入力値のロックを可能

「入力」 - 「線」 - 「連続線」 [単線] の入力バーにロックボタンを追加して、入力値をロックできるようにしました。

 : 入力されている数値をロックします。 をクリックするとロックが解除されます。



## 3-3 ワールドファイルに対応

「入力」 - 「ラスター・写真」 - 「配置」で、画像ファイルと同じフォルダに、画像ファイルと同じ名前のワールドファイルが存在する場合は、ワールドファイルの情報を読み込むことができるようにしました。

ワールドファイルを利用することで、縮尺に合わせたラスターの自動配置が可能になります。

## 3-4 [現在のレイヤに配置] する設定を追加

インプットバーに [現在のレイヤに配置] チェックボックスを追加しました。チェックをオフにすると、元の要素と同じレイヤで配置することができます。

対象となるのは以下のコマンドです。

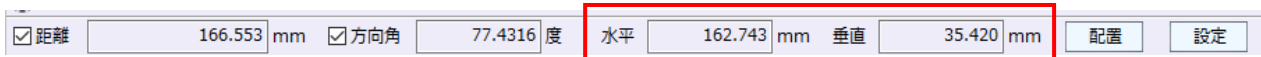
- ・ [データ編集] - [移動] - [移動]
- ・ [データ編集] - [移動] - [移動回転]
- ・ [データ編集] - [回転]
- ・ [データ編集] - [鏡像]
- ・ [データ編集] - [伸縮]
- ・ [データ編集] - [カット] - [範囲指定] (移動・複写)

 移動：移動：移動元基準点を指定

現在のレイヤに配置

## 3-5 2点間の計測時に水平垂直距離を表示

[ツール] - [計測] - [2点間の距離方向角] のインプットバーに水平垂直距離を表示できるようにしました。



## 3-6 3Dで面の外周線を表示

[3D] ダイアログに [外周] ボタンを追加して面の外周線を表示できるようにしました。





## 3-7 3Dで面の外周線の色を設定

[3D] ダイアログの [設定] - [設定] の [表示設定] ダイアログに「外周線」を追加して、外周線の色を設定できるようにしました。



## 3-8 3Dに[編集 [頂点整合]]を追加

[3D] ダイアログに [面] - [編集 [頂点整合]] を追加して、頂点の統合、頂点の追加を行えるようにしました。

[面・頂点整合] ダイアログで [頂点を統合する] のチェックをオンにすると、指定した誤差範囲内にある面の頂点を統合することができます。

[頂点を追加する] のチェックをオンにすると、面に頂点を追加し、隣接する面と統合することができます。



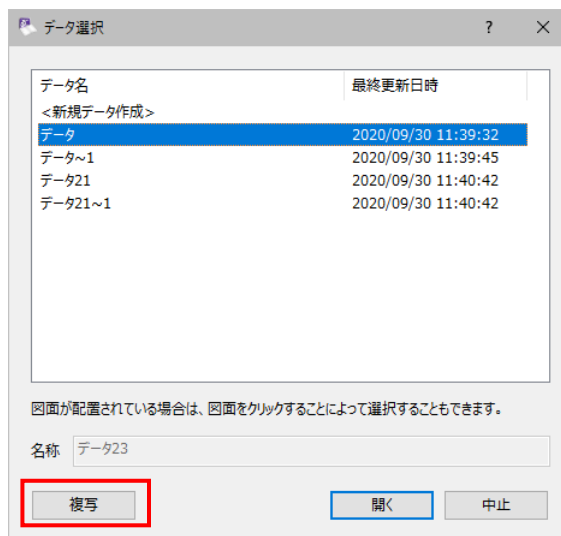
## 3-9 3Dに[編集 [隙間埋め]]を追加

[3D] ダイアログに [面] - [編集 [隙間埋め]] を追加して、外周が閉じている場合、閉じた空間に面を追加できるようにしました。

追加された面は、補間面として別グループに登録されます。

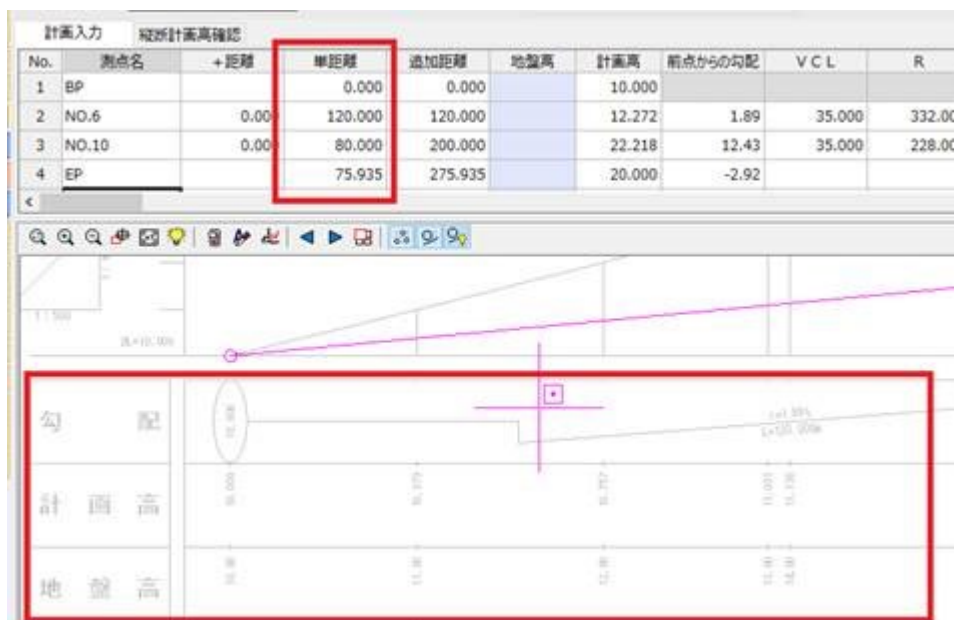
## 3-10 測量計算データ選択ダイアログに「複写」を追加

データ選択ダイアログに「複写」ボタンを追加し、データを複写できるようにしました。



## 3-11 3次元設計データ作成の「縦断」の「計画」に「単距離」セルを追加

3次元設計データ作成の「縦断」の「計画」に「単距離」セルを追加して、縦断図から文字取得できるようにしました。



## 3-12 3次元設計データ作成の [横断] の [計画] の [モード] セルに [CLからの離れ+標高] を追加

3次元設計データ作成の [横断] の [計画] の [モード] セルに「CLからの離れ+標高」を追加しました。行の挿入、削除を行っても、CLからの離れ、標高を固定することができます。

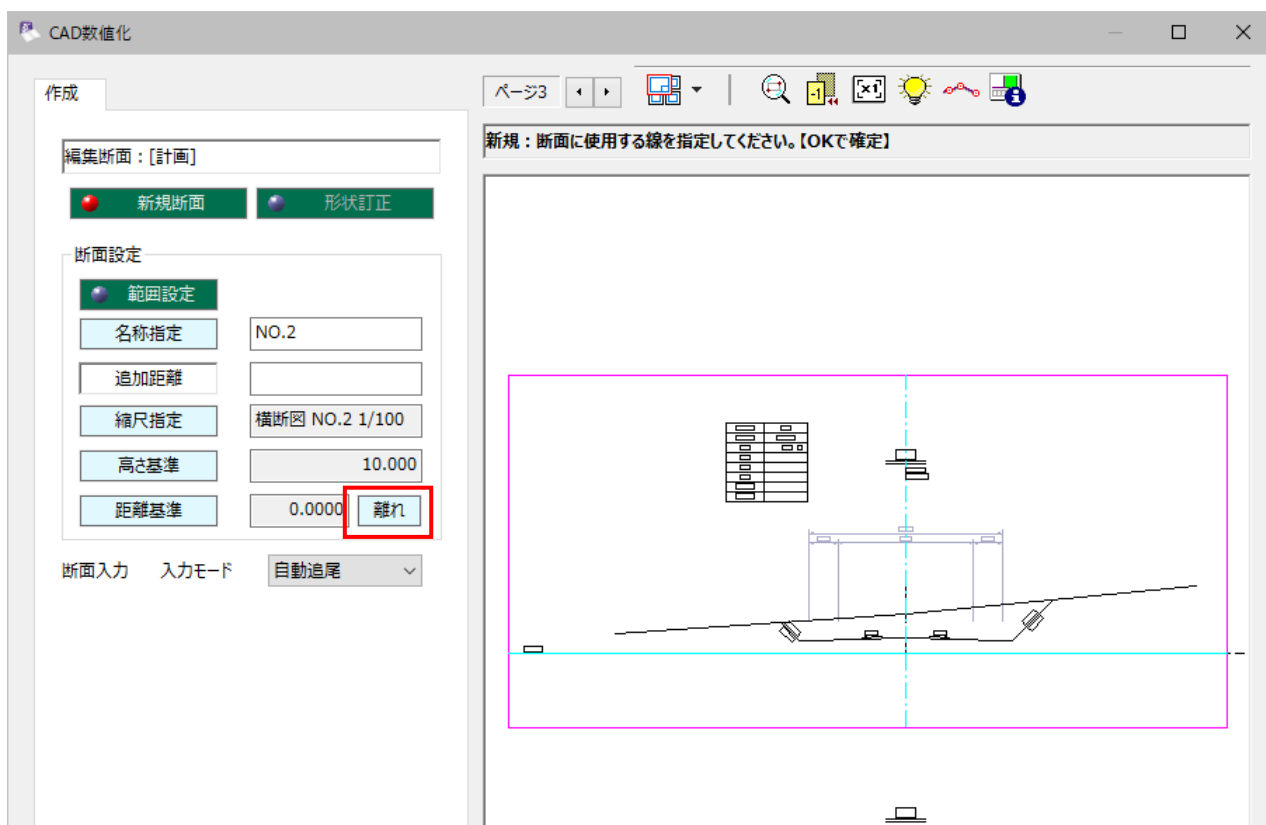
計画高	10.000000 m	<input checked="" type="checkbox"/> 現地盤交点まで作成	すり付け					
構築形状の選択	<input checked="" type="checkbox"/> 計画層	編集	<input type="checkbox"/> 標準幅員・片勾配・拡幅から計算					
縦断計画との高低差	0.000000 m	道路中心との離れ	0.0000 m					
			1行目					
No.	構成要素	モード	比	n(%)	距離	高低差	CLからの離れ	標高
1	道路	CLからの離れ+標高	-50.000	-2.00	5.0000	-0.100000	5.0000	9.900000
2	道路	距離+高低差	0.000	0.00	0.5000	0.000000	5.5000	9.900000

## 3-13 3次元設計データ作成の [横断] の [断面設定] の [取り込み] の [CAD 数値化] にセンター離れの入力を追加

3次元設計データ作成の [横断] の [断面設定] の [取り込み] の [CAD数値化] ダイアログに [離れ] ボタンを追加して、センターからの離れを入力できるようにしました。

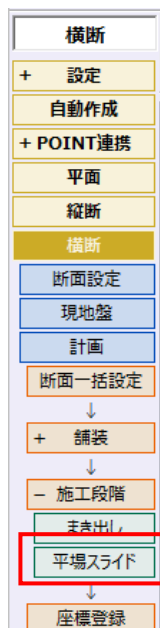
センターから離れた位置をセンターとして、CAD数値化することができます。

※3次元設計データ作成の場合のみ、[離れ] ボタンが表示されます。



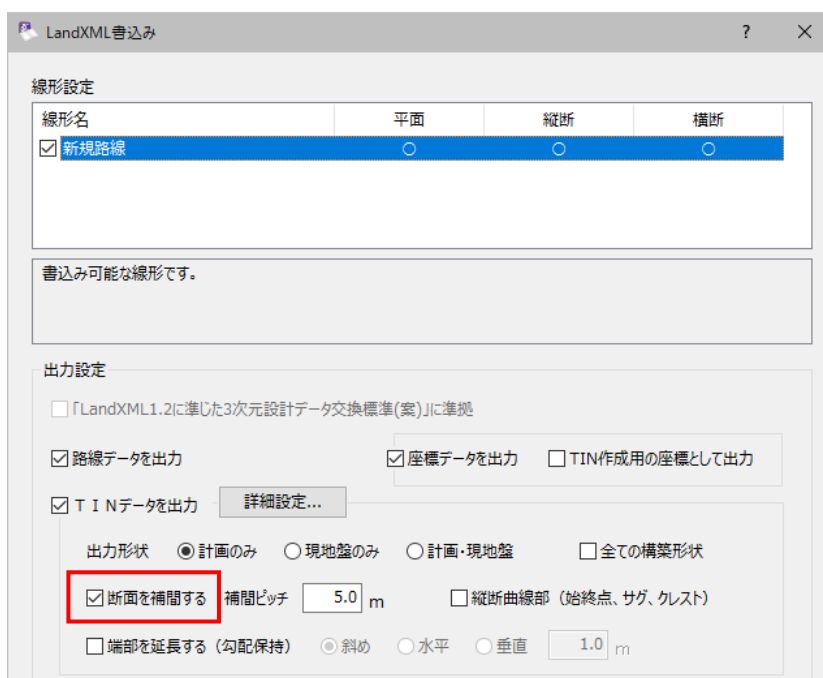
## 3-14 3次元設計データの作成で構築形状の平場をスライド複写

3次元設計データ作成の【横断】の【計画】の【施工段階】に【平場スライド】を追加して、接続されている全断面に対して、法面勾配を保持した状態で、平場をスライド移動し、整合できるようにしました。



## 3-15 3次元設計データの LandXML 書き込みの【横断のみを参照】を【断面を補間する】に変更

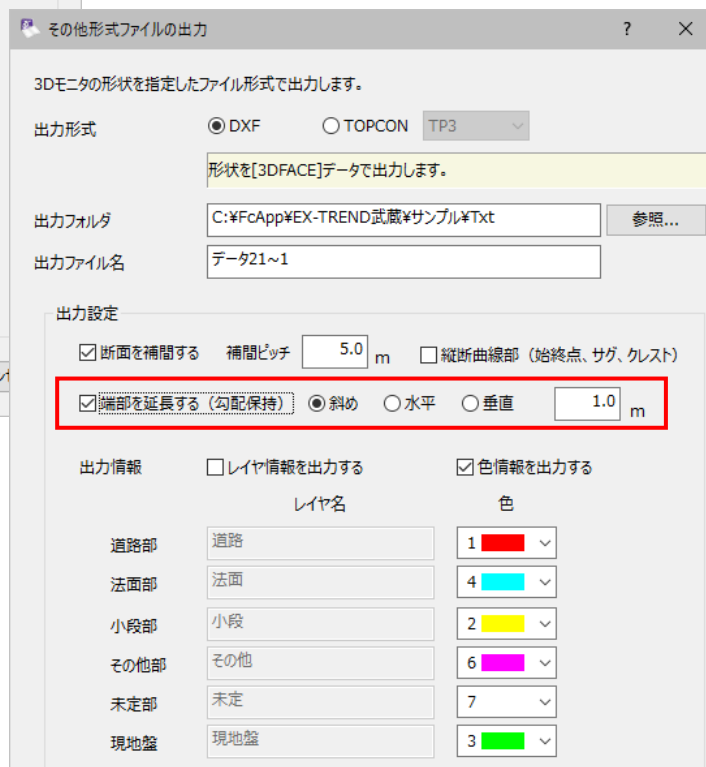
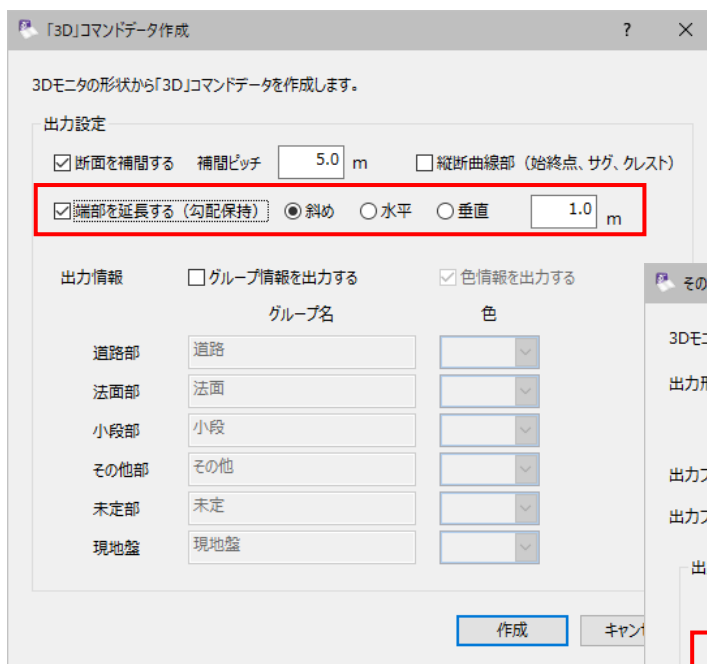
3次元設計データ作成の【書き込み】の【LandXML書き込み】ダイアログの【横断のみ参照】チェックボックスを【断面を補間する】チェックボックスに変更しました。



## 3-16 3次元設計データの TIN 出力時に端部の延長を可能

3次元設計データ作成の [書込み] - [LandXML] [「3D」データ] [その他形式] に [端部を延長する (勾配保持)] チェックボックスを追加して、・TINを出力時に、端部を延長できるようにしました。

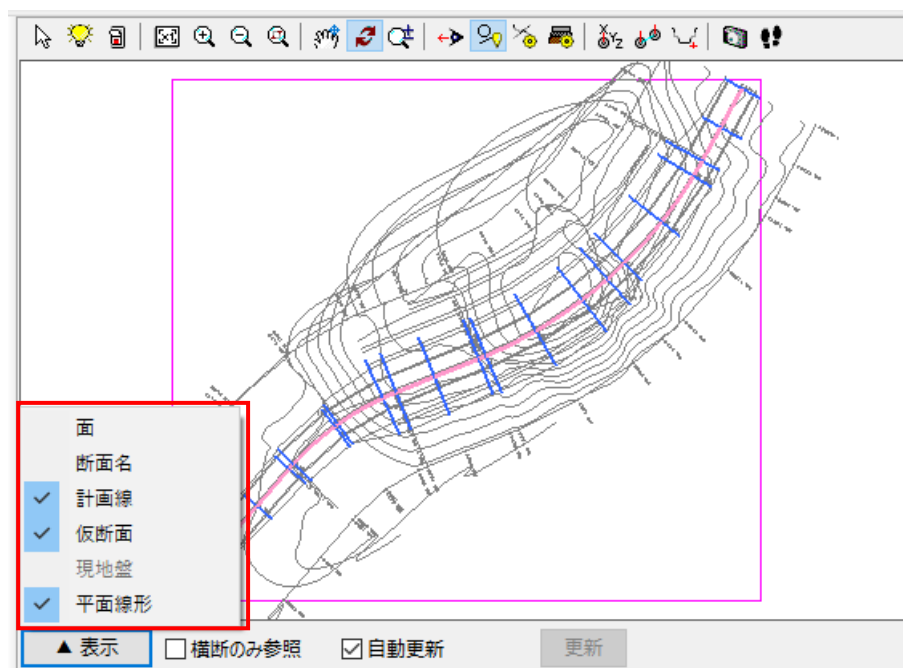
延長する長さは、斜め、水平、鉛直方向に、数値で指定することができます。



## 3-17 3D モニタの [表示] の改良

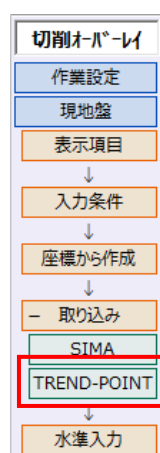
3Dモニタの [表示] を改良しました。

- ・ [面] をオフにすると、横断と線形だけのスケルトン状態で表示できるようにしました。
- ・ [仮断面] を追加しました。
- ・ 平面線形、計画線、仮断面の線の太さを調整して見やすくしました。



## 3-18 切削オーバーレイで TREND-POINT との連携強化

切削オーバーレイの [TREND-POINT読み込み] を実行時に、TREND-POINT Ver.8以上が起動している場合は、自動で縦横断SIMA、オルソ画像の読み込みを行うようにしました。



# 4 出来形管理

出来形管理の新機能をご紹介します。

## 4-1 未入力値に「-」を出力

【出力設定】ダイアログに【未入力値の場合、「-」（ハイフン）を表示する】チェックボックスを追加して、未入力の場合に、代わりに「-」（ハイフン）を表示できるようにしました。

出力設定

設定するフォーム 測定結果一覧表 / 10項目-10点-1段  すべて同じ設定

測定項目

No.	項目名	記号	色	背景色	作成
1	基準高	▽	黒	ピンク	○
2	幅	w	黒	オレンジ	○

名称・記号の色

出力設定での色設定を利用  「成果編集」での色設定を利用

グラフ線・マーカーを同色にする  豆図の測定記号を同色にする

背景色の初期設定

測点

No.	測点	作成
1	1	○
2		○

設計値または差が無い測点を詰める  実測値1があれば出力する

実測値・差の表示

フォーム内のデータボックス

出力する測定値
出来形管理対象 (実測値1・差1)
品質証明計測値 (実測値2・差2)
監督職員計測値 (実測値3・差3)
検査職員計測値 (実測値4・差4)

規格値・基準値・社内規格値内合否判定

判定対象 規格値 合: 合 否: 否

範囲外の差の値を色付きで表示する (OFFの場合は成果編集での文字色で表示する)  
※規格値外: [赤]、基準値外: [青]、社内規格値外: [緑]

すべてのフォームに共通の設定

各規格値が「設計値以上」等の式で設定されている場合、式形式で表示する

設計値が1つでも異なる場合、「-」（ハイフン）を表示する  ハイフンに括弧をつける

未入力値の場合、「-」（ハイフン）を表示する(実測値等)

差の最大値・最小値を絶対値で算出する (OFFの場合は符号を加味して算出する)

差の最大値・最小値・最多値で抽出する (OFFの場合は実測値で抽出する)

日付形式

工事情報 (既定値を使用)

測定項目 (既定値を使用)

測点データ (既定値を使用)

OK キャンセル

## 4-2 日付形式を「工事情報」「測定項目」「測点情報」ごとに設定

【出力設定】ダイアログに【日付形式】を追加して、「工事情報」「測定項目」「測点情報」ごとに日付の形式を設定できるようにしました。

【印刷】 【Excel出力】 【PDF出力】 【インデックスに成果登録】 で適用されます。

出力設定

設定するフォーム: 測定結果一覧表 / 10項目-10点-1段  すべて同じ設定

**測定項目**

No.	項目名	記号	色	背景色	作成
1	基準高	▽	黒	ピンク	○
2	幅	w	黒	オレンジ	○

名称・記号の色

出力設定での色設定を利用 背景色の初期設定

グラフ線・マーカーを同色にする

豆図の測定記号を同色にする

「成果編集」での色設定を利用

**測点**

No.	測点	作成
1	1	○
2		○

設計値または差が無い測点を詰める

実測値1があれば出力する

**実測値・差の表示**

フォーム内のデータボックス	出力する測定値
実測値1・差1	出来形管理対象 (実測値1・差1)
実測値2・差2	品質証明計測値 (実測値2・差2)
実測値3・差3	監督職員計測値 (実測値3・差3)
実測値4・差4	検査職員計測値 (実測値4・差4)

規格値・基準値・社内規格値内合否判定

判定対象: 規格値 合: 合 否: 否

範囲外の差の値を色付きで表示する (OFFの場合は成果編集での文字色で表示する)

※規格値外: [赤]、基準値外: [青]、社内規格値外: [緑]

すべてのフォームに共通の設定

各規格値が「設計値以上」等の式で設定されている場合、式形式で表示する

設計値が1つでも異なる場合、「-」(ハイフン)を表示する  ハイフンに括弧をつける

未入力値の場合、「-」(ハイフン)を表示する(実測値等)

差の最大値・最小値を絶対値で算出する (OFFの場合は符号を加味して算出する)

差の最大値・最小値・最多値で抽出する (OFFの場合は実測値で抽出する)

**日付形式**

工事情報 (既定値を使用) ばらつき管理ラベルの表示順

測定項目 (既定値を使用)

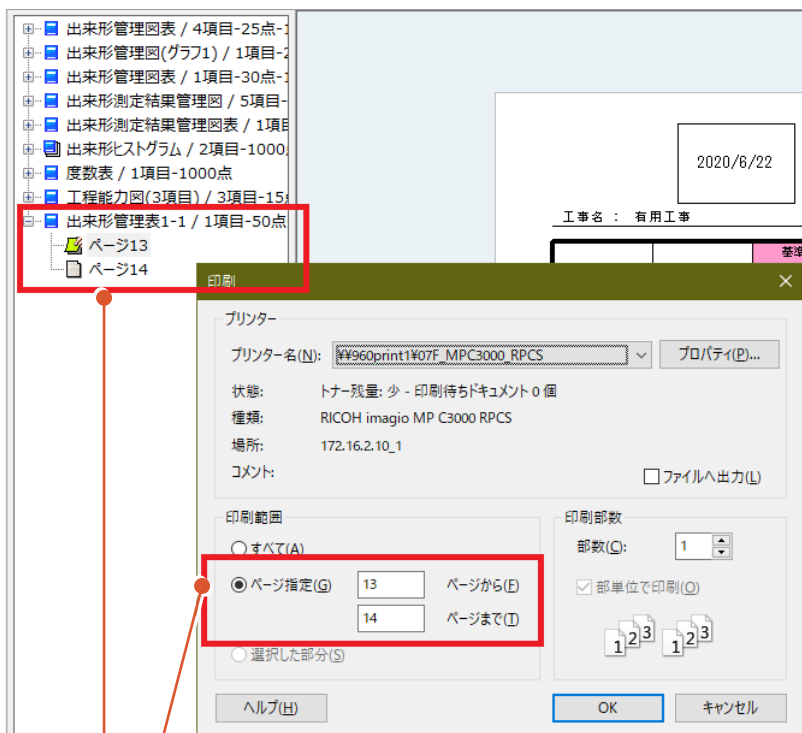
測点データ (既定値を使用)

OK キャンセル



## 4-3 [フォームごとに印刷] を追加

[ファイル] に [フォームごとに印刷] を追加して、分類ツリー上で選択されているフォームについて、全ページ印刷できるようにしました。

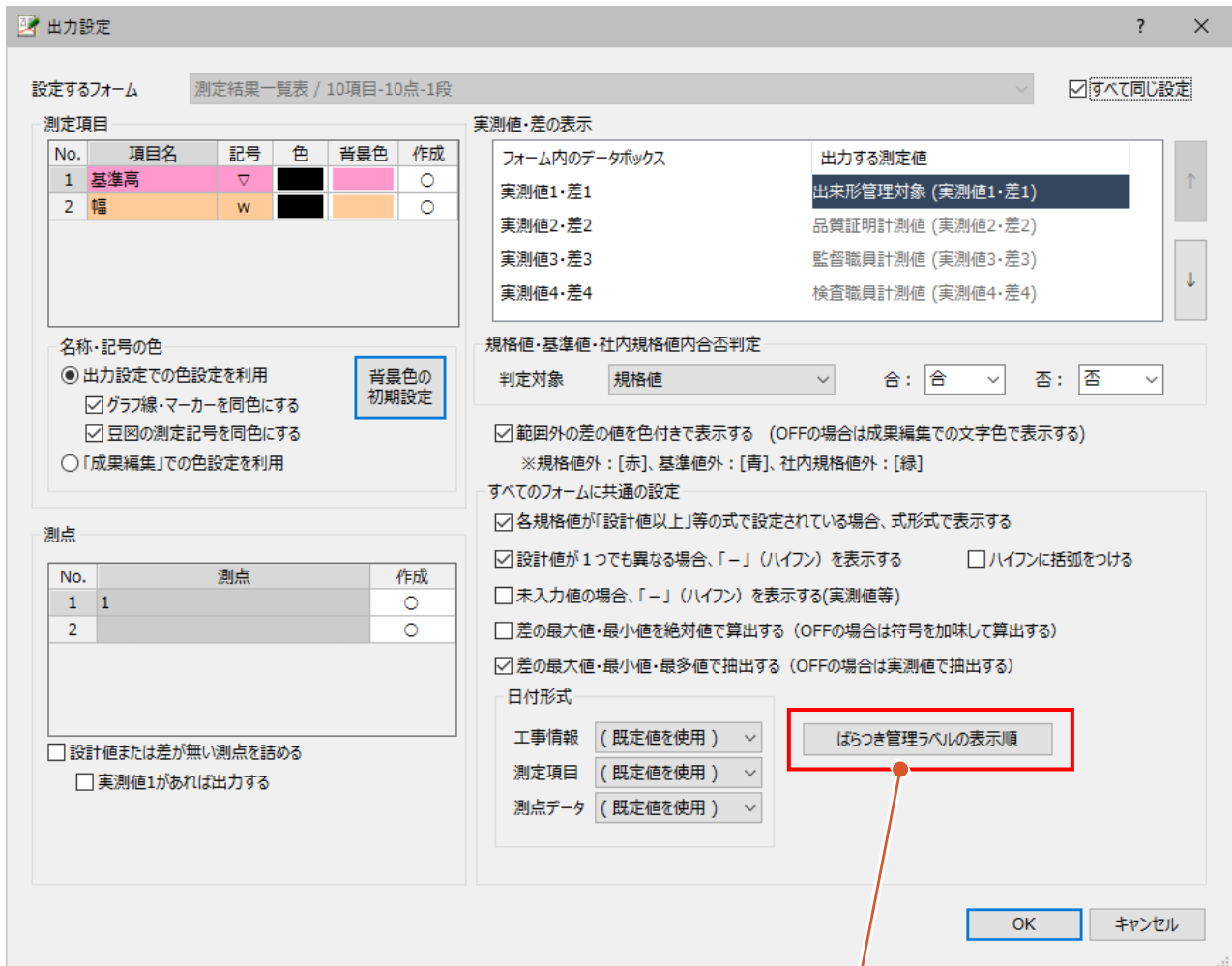


[ファイル]-[フォームごとに印刷]を実行すると、  
[開始ページ][終了ページ]に分類ツリー上で選  
択されているフォームのページが表示されます。

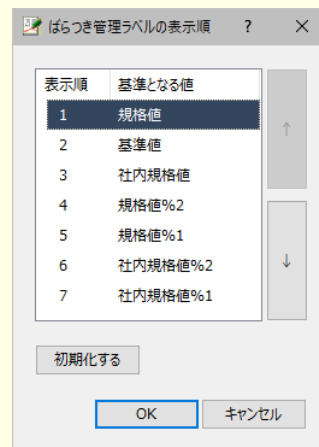
## 4-4

# 【ばらつき管理ラベルの表示順】の変更を可能

【出力設定】ダイアログに【ばらつき管理ラベルの表示順】を追加して、ばらつき管理ラベルの表示順を変更できるようにしました。



【ばらつき管理ラベルの表示順】ダイアログで表示順を変更することができます。



# 5 写真管理

写真管理の新機能をご紹介します。

## 5-1 デジタル写真管理情報基準 R2.3 に対応

デジタル写真管理情報基準 R2.3に対応しました。

## 5-2 写真の信憑性チェック出力時に総括表形式で結果を表示

[ツール] - [信憑性チェックの実行] のチェック結果の項目の上部に総括表形式でチェック結果を出力するようにしました。

写真総数	11 枚
チェック対象	8 枚
チェック:OK	8 枚
チェック:NG	0 枚
チェック対象外	3 枚

## 5-3 写真取り込みの自動振り分けの改良

〔取り込み〕ダイアログの項目名を〔工種情報により、自動振り分けする（電子小黒板・カメラメモなど）〕に変更しました。工種情報を参照して自動振り分けするときは、チェックをオンにします。

・「ファイル」「フォルダ」「フォルダ管理」を選択した場合

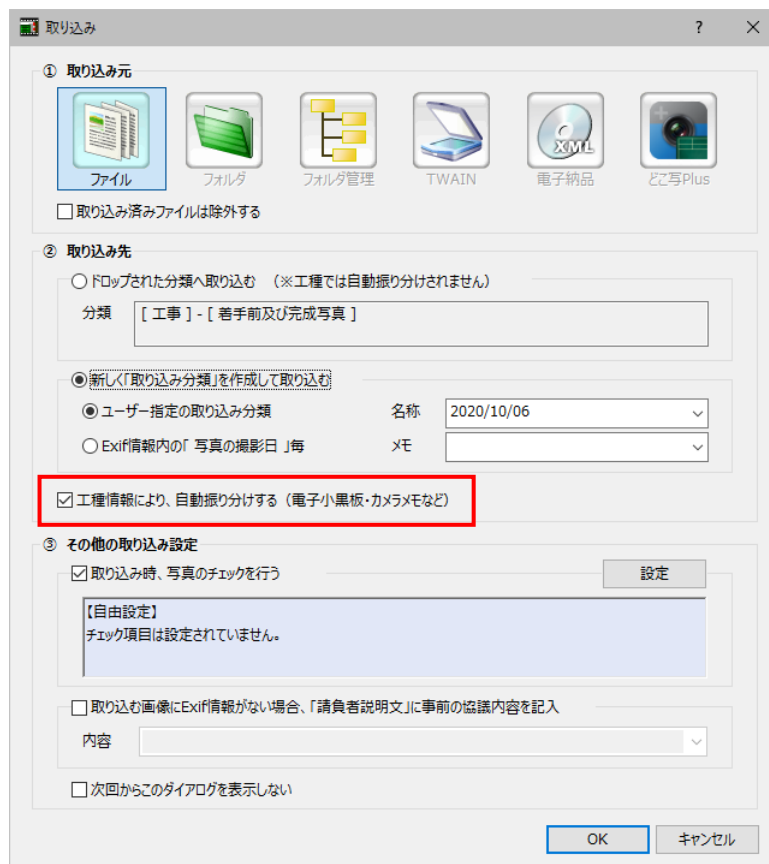
チェックがオフのときは、工種情報以外の情報のみ取り込まれます。

・〔工種〕タブで写真をエクスプローラーからドラッグ&ドロップして取り込む場合：下図参照

「ドロップされた分類へ取り込む」を選択した場合には〔工種情報により、自動振り分けする（電子小黒板・カメラメモなど）〕が選択不可になり、工種では自動振り分けされません。

・〔撮影箇所〕タブで写真をエクスプローラーからドラッグ&ドロップして取り込む場合

「ドロップされた分類へ取り込む」を選択した場合には、撮影箇所で自動振り分けされません。〔工種情報により、自動振り分けする（電子小黒板・カメラメモなど）〕については、オンの場合には〔工種〕タブ側では振り分けされます。



# 6 アスファルト温度管理

アスファルト温度管理の新機能をご紹介します。

## 6-1 日付形式を「工事情報」「測点データ」ごとに設定

【出力設定】ダイアログに【日付形式】を追加して、「工事情報」「測点データ」ごとに日付の形式を設定できるようにしました。

【印刷】【Excel出力】【インデックスに成果登録】で適用されます。

出力設定

設定するフォーム  
アスファルト混合物の温度測定1 / 1項目-20台

温度の出力順

No.	管理温度名称
温度1	出荷温度
温度2	到着温度
温度3	数均温度
温度4	初期転圧温度
温度5	2次転圧温度
温度6	開放温度

台数

No.	台数	作成
1	1	○
2	2	○

上下限值内合否判定

判定対象 上下限值

合: 合

否: 否

範囲外の測定値の値を色付まで表示する  
※上下限值外:[赤]  
(OFFの場合は成果編集での文字色で表示する)

すべてのフォームに共通の設定

日付形式

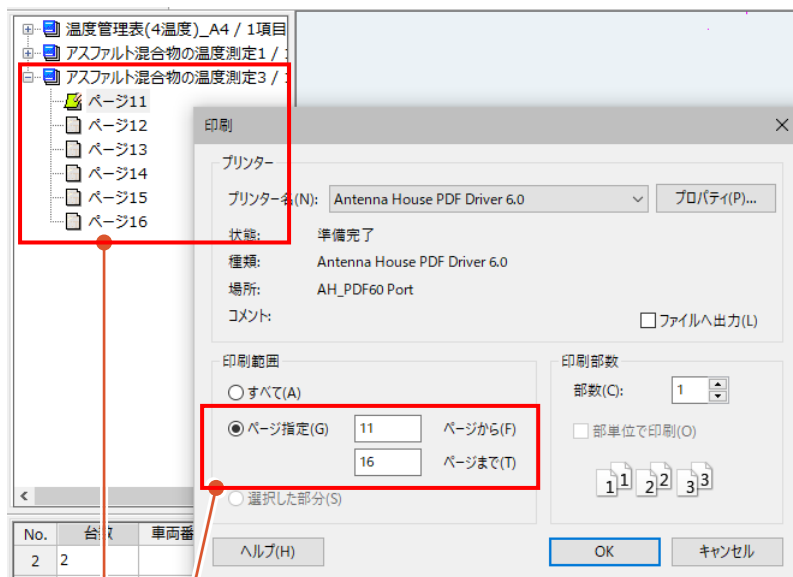
工事情報 (既定値を使用)

測点データ (既定値を使用)

OK キャンセル

## 6-2 [フォームごとに印刷] を追加

[ファイル] に [フォームごとに印刷] を追加して、分類ツリー上で選択されているフォームについて、全ページ印刷できるようにしました。



[ファイル] - [フォームごとに印刷] を実行すると、[開始ページ][終了ページ]に分類ツリー上で選択されているフォームのページが表示されます。

# 7 コンクリート品質管理

コンクリート品質管理の新機能をご紹介します。

## 7-1 日付形式を「工事情報」「測点データ」ごとに設定

【出力設定】ダイアログに【日付形式】を追加して、「工事情報」「測点データ」ごとに日付の形式を設定できるようにしました。

【印刷】 【Excel出力】 【インデックスに成果登録】 で適用されます。

出力設定

設定するフォーム: コンクリート試験一覧表 / 7項目-15日

出力する圧縮強度: 7日標準・7日現場・28日標準・28日現場

測定項目						打設日		
No.	項目名	記号	色	背景色	作成	No.	打設日	作成
1	温度				○	1	2020/09/24	○
2	スランプ				○	2	2020/09/25	○
3	空気量				○			
4	圧縮強度 7日標準				○			
5	圧縮強度 7日現場				○			
6	圧縮強度 28日標準				○			
7	圧縮強度 28日現場				○			

上下限值内合否判定

判定対象: 上下限值

合: 合

否: 否

範囲外の測定値/測定値平均の値を色付きで表示する

※上下限值外:[赤]

※社内規格値外:[緑]

(OFFの場合は成果編集での文字色で表示する)

すべてのフォームに共通の設定

差の最大値・最小値を絶対値で算出する(OFFの場合は符号を加味して算出する)

差の最大値・最小値・最多値で抽出する(OFFの場合は測定値で抽出する)

日付形式

工事情報: (既定値を使用)

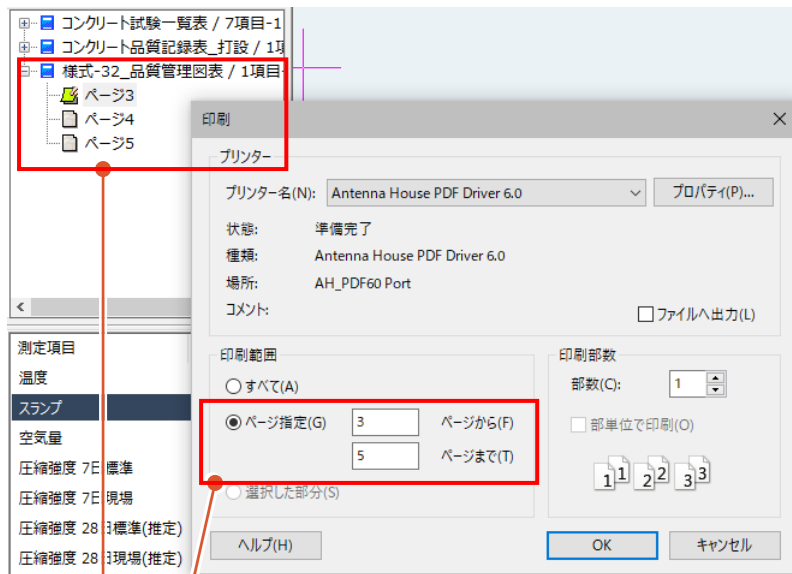
測点データ: (既定値を使用)

ばらつき管理レベルの表示順

OK キャンセル

## 7-2 [フォームごとに印刷] を追加

[ファイル] に [フォームごとに印刷] を追加して、分類ツリー上で選択されているフォームについて、全ページ印刷できるようにしました。



[ファイル] - [フォームごとに印刷] を実行すると、  
[開始ページ][終了ページ]に分類ツリー上で選  
択されているフォームのページが表示されます。



## 7-3

# 【ばらつき管理ラベルの表示順】の変更を可能

【出力設定】ダイアログに【ばらつき管理ラベルの表示順】を追加して、ばらつき管理ラベルの表示順を変更できるようにしました。

出力設定

設定するフォーム: コンクリート試験一覧表 / 7項目-15日

出力する圧縮強度: 7日標準・7日現場・28日標準・28日現場

測定項目						打設日		
No.	項目名	記号	色	背景色	作成	No.	打設日	作成
1	温度				○	1	2020/09/24	○
2	スランプ				○	2	2020/09/25	○
3	空気量				○			
4	圧縮強度 7日標準				○			
5	圧縮強度 7日現場				○			
6	圧縮強度 28日標準				○			
7	圧縮強度 28日現場				○			

上下限值内合否判定

判定対象: 上下限值

合: 合

否: 否

範囲外の測定値/測定値平均の値を色付きで表示する

※上下限值外: [赤]

※社内規格値外: [緑]

(OFFの場合は成果編集での文字色で表示する)

すべてのフォームに共通の設定

差の最大値・最小値を絶対値で算出する(OFFの場合は符号を加味して算出する)

差の最大値・最小値・最多値で抽出する (OFFの場合は測定値で抽出する)

日付形式

工事情報: (既定値を使用)

測点データ: (既定値を使用)

ばらつき管理ラベルの表示順

OK キャンセル

【ばらつき管理ラベルの表示順】ダイアログで表示順を変更することができます。

ばらつき管理ラベルの表示順

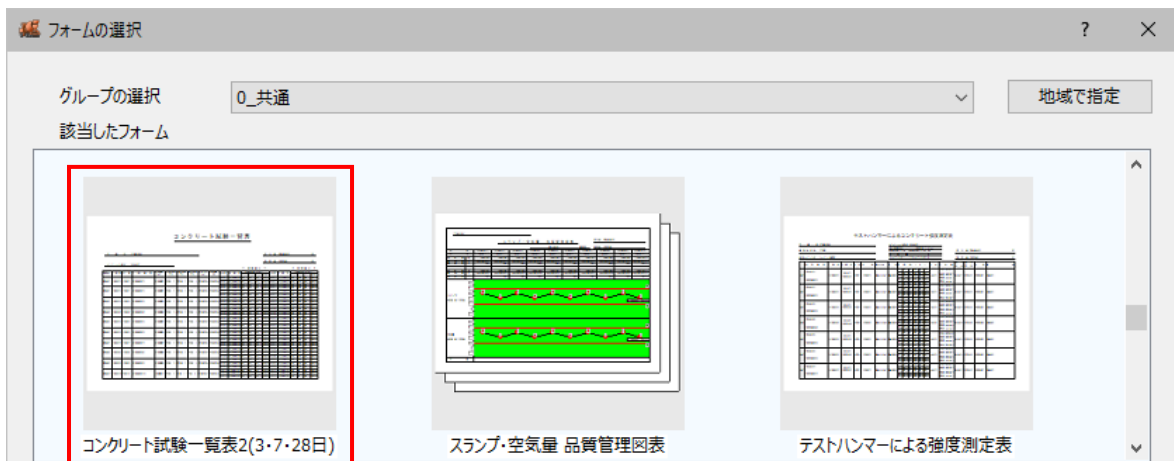
表示順	基準となる値
1	上下限值
2	社内規格値
3	上下限值%2
4	上下限值%1

初期化する

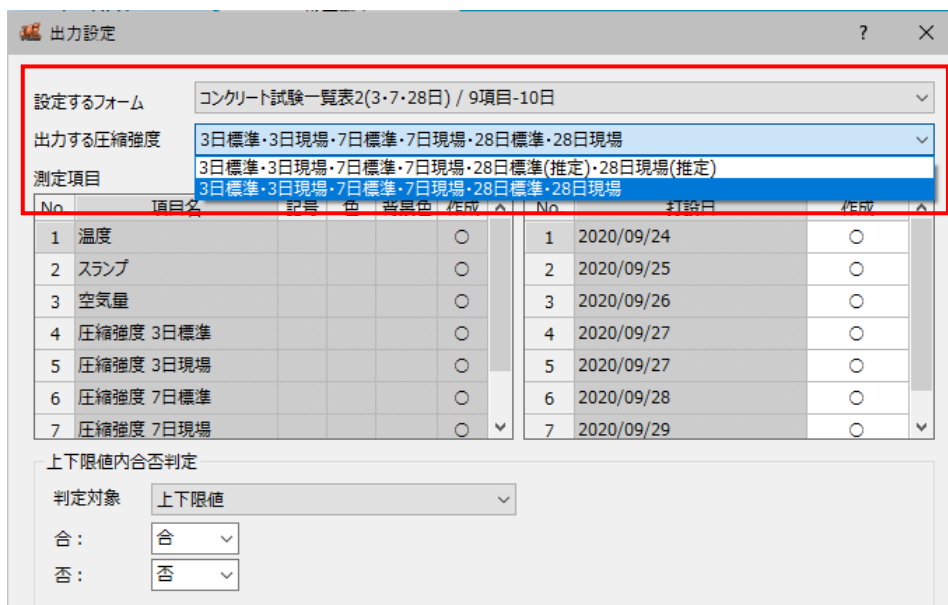
OK キャンセル

## 7-4 コンクリート品質管理帳票の追加

「0\_共通」グループに「コンクリート試験一覧表(3・7・28日)」「コンクリート試験一覧表2(3・7・28日)」を追加しました。



「出力設定」で出力する圧縮強度の組み合わせパターン（「3日標準・3日現場・7日標準・7日現場・28日標準・28日現場」「3日標準・3日現場・7日標準・7日現場・28日標準(推定)・28日現場(推定)」を選択することができます。



# 8 電子納品ツール

電子納品ツールの新機能をご紹介します。

## 8-1 要領・基準案対応

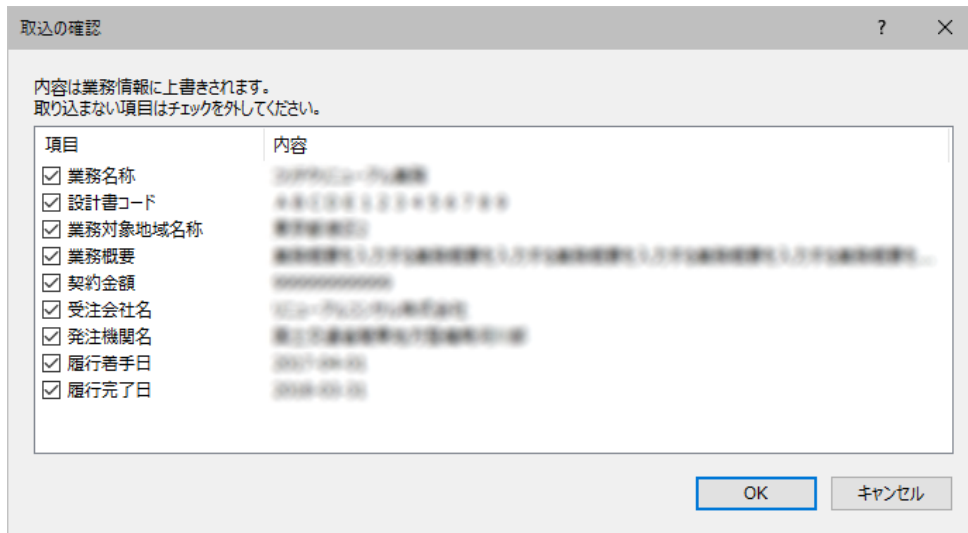
以下の要領・基準案に対応しました。

- ・工事完成図書の電子納品等要領（R2.3改定版）
- ・土木設計業務等の電子納品要領（R2.3改定版）
- ・デジタル写真管理情報基準（R2.3改定版）
- ・営繕工事電子納品要領（R1.10改定版）
- ・水資源機構R2.3
- ・国交省ICON改定R2

## 8-2 テクリス読み込み時に取り込み対象を指定

テクリス読み込み時に「取込の確認」ダイアログを表示して、取り込み対象を指定できるようにしました。

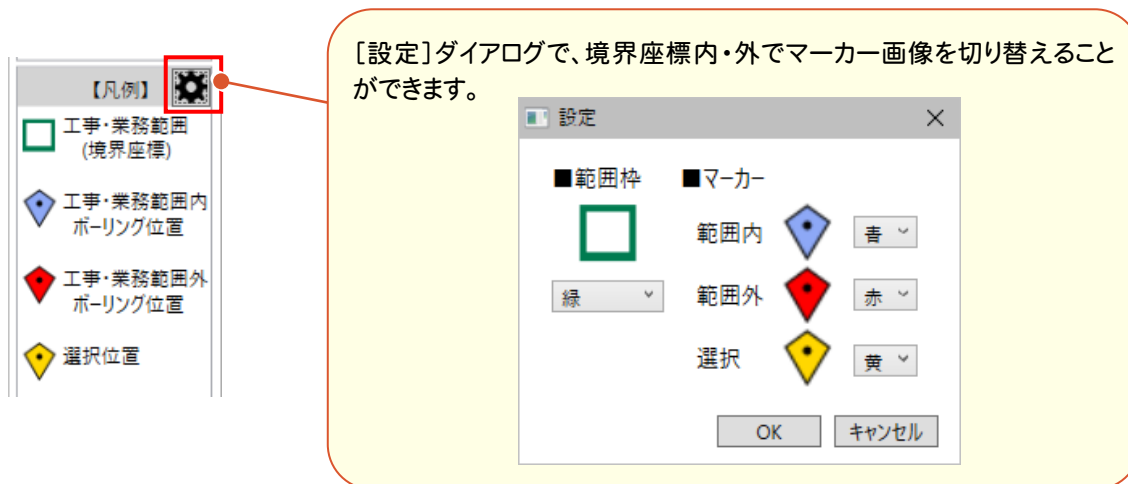
「取込の確認」ダイアログで取り込む項目のチェックをオンにします。



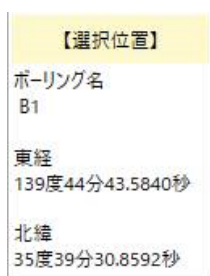
## 8-3 地図情報表示の強化

地図情報の表示を強化しました。

- ・画面左下部に、地図上に表示する範囲枠・マーカーの凡例、及び設定ボタンを追加しました。
- ・【凡例】の右の【設定】で境界座標内・外でマーカー画像を切り替えできるようになりました。



- ・選択中マーカーの経緯度情報、ポーリング名/地点名の表示できるようになりました。



- ・【範囲指定】 【位置指定】 タブを削除しました。



- ・座標の秒の小数点以下4桁の表示方法を「例：139度44分43.5840秒」に変更しました。

## 8-4 納品チェック結果からファイルを開く

納品チェック結果のリストのファイル名部分をダブルクリックすると、関連付けされているアプリケーションで開けるようにしました。

XML	PDFファイル	JPGファイル	関連
フォルダ名	ファイル名		判:
¥PHOTO¥PIC	P0000001.JPG		エラ
¥PHOTO¥PIC	P0000001.JPG		エラ
¥PHOTO¥PIC	P0000001.JPG		エラ

ファイル名をダブルクリックすると、関連付けされているアプリケーションで開くことができます。

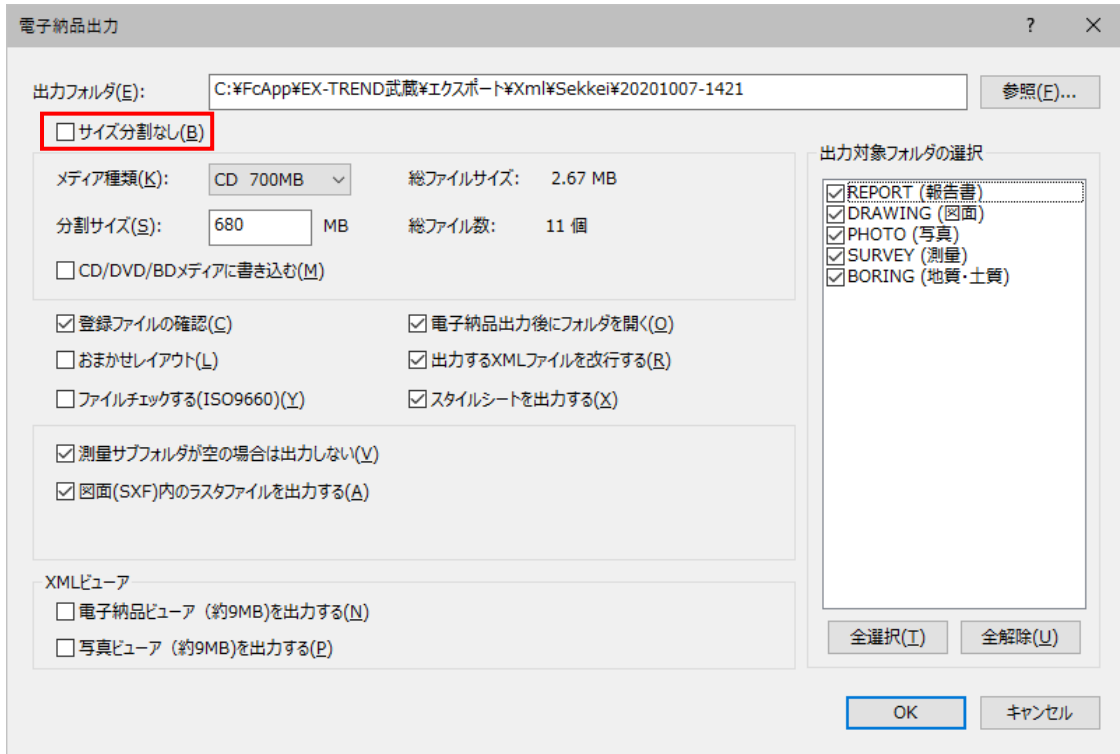
## 8-5 写真の信憑性チェック出力時に総括表形式で結果を表示

[ツール] - [信憑性チェックの実行 (出力)] のチェック結果の項目の上部に総括表形式でチェック結果を出力するようにしました。

写真総数	11 枚
チェック対象	8 枚
チェック:OK	8 枚
チェック:NG	0 枚
チェック対象外	3 枚

## 8-6 電子納品出力でサイズによる分割なしの出力を可能

【電子納品出力】に【サイズ分割なし】チェックボックスを追加して、サイズによるフォルダ分割をせずに電子納品出力できるようにしました。



# 9 原価工程管理

## 9-1 出来形オブジェクトの出力の改善

バーチャート図、アロー図、ネットワーク図にて、出来高曲線を出力する帳票で出来高オブジェクトを出力する場合、「100%」の時もオブジェクトを出力するようにしました。

